〝死亡事故ふえる〟

事故を呼ぶ、酒は飲むまい飲ますまい
交通事故にご協力ください

富士警察署管内における交通事故の死者は、ことしに入ってすでに14名にのぼりました。これは昨年の同じ時期にくらべて4名ふえています

これらの交通事故の原因は

①飲酒運転

②スピードの出しすぎ

③小さな子供のひとり歩きや、とまっている車のかげからのとび出しなどです。

交通事故の被害にあわないために

▷国道や交通量の多い道路を横断するときは、信号機や横断歩道のあるところをえらび、左右の安全をたしかめる。

▷とまっている車の前や後から横断するときは、必ず左右を見て、手を上げて横断する。

▷小さい子供を道路で遊ばせたり、ひとり歩きをさせない。

車を運転する人のための心得3ヵ条

・酒を飲んだら絶対に運転しない。

・きめられた制限速度を守る。

・商店街や住宅地などで、とまっている車の横を通るときは、スピードを落して車のかげに注意する。

私のコレクション展

6日～9日・富士文化センターで

私のコレクション展が、6月9日(木)から11日(土)まで毎日午前9時～18時まで富士文化センター第1、2、3会議室で開きます。

これは富士文化センターが自主文化事業の一つとして開くもので、出品するものは、いずれもめずらしい記念切手鉄道記念きっぷ、色紙、大ダコ、小ダコ、軸もの、タンザク、写真など約250点を展示します。入場無料、くわしいことは文化センター（61—6262）へご連絡ください。

【県東部明るい選挙推進大会】

参院選をひかえ

明るい選挙推進東部地区大会

7月上旬予定されている参議院議員選挙をひかえ、明るい選挙推進静岡県東部地区研修大会は、5月18日午前10時から富士市役所で開き、地元富士市をはじめ富士宮、沼津、三島、伊東、熱海、御殿場、下田、裾野の9市および田方郡、駿東郡、富士郡、賀茂郡などの関係者約200名が集まり活発な意見交換のあと、大会宣言や自由民主党、日本社会党、公明党、日本共産党、民社党、新自由クラブの6大政党の代表と質疑応答が行われ、中でも事前運動とみられる候補者のポスター（演説会や講演会等の期限の切れたもの）が街に平然とはられている現状から「ぜひ各候補者の責任において必らず撤去してほしい」と強く要請しました。また、法定選挙費用に関する収支報告書は、単なるつじつま合せで、実際には、法定選挙費用をはるかにオーバーしているようです。法が守られないなら当然、法改正の必要があるなど活発な意見が出ました。終って「明るい選挙推進」の大会宣言が決議されました。

富士市の国勢調査

確定人口199,195人

総理府統計局では、昭和50年国勢調査人口および世帯数の確定結果を発表しました。

これによりますと、富士市の人口は、20万人に805人少い19万9,195人で、うち男9万9,912人、女9万9,283人、5万1,530が世帯数です。

なお、参考までに静岡県の総人口は330万8,799人、世帯数は86万8,333世帯となっています。